

# 高齢者の孤立防ぎ催し企画

ペタンク大会や「集い」など次々「参加増やしたい」

## 大善寺校区老人クラブ



17日にあった「歌で絆を深める集い」。若々しい歌声に拍手が続いた

人との触れ合いがない、家に閉じこもりがち…。社会から孤立する高齢者を減らそうと、久留米市大善寺町の大善寺校区老人クラブはさまざまなイベントを企画している。

17日に校区コミュニティセンターであった「第4回歌で絆を深める集い」。老人クラブの会員が200人近く集まり、カラオケを披

む人の姿も見られた。

妹と参加した波戸内輝子さん(86)は「4年前からずっと参加している。ここにいる人たちは顔なじみばかり。みんなと会える機会なので楽しみにしていた」と話す。

他にも、標的となる球に金属製のボールを投げ合い、どれだけ近づけるかを争うフランス発祥のスポーツ「ペタンク」の大会や、メンバーが民謡やフラダンスを披露する「友愛大会」を実施。また小学生とのペタンク大会など高齢者と子どもをつなぐイベントも企画している。

同クラブの堤英夫会長(83)は「仲間、健康、生きがいをつくることで、日々を楽しく過ごすことができる」と活動の意義を語る。一方、イベントへの参加に一歩を踏み出せない高齢者もまだ多いという。「会員

が近所の人を誘うことで、いい。高齢者を孤立させない」と力を込めた。

(長浜幸治)